

県内の患者数

矢印は、前週の数に対して ↑増加 ↓減少 →横ばい を表しています。

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	↓ 767	946	百日咳	→ 0	0
RSウイルス感染症	↓ 10	12	ヘルパンギーナ	↑ 10	5
咽頭結膜熱	↓ 9	32	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	↑ 61	44
A群溶血性連鎖球菌 咽頭炎	↓ 57	67	急性出血性結膜炎	→ 0	0
感染性胃腸炎	↓ 442	478	流行性角結膜炎 (はやり目)	↑ 10	8
水痘	↓ 74	106	細菌性髄膜炎	↑ 1	0
手足口病	↑ 1	0	無菌性髄膜炎	→ 0	0
伝染性紅斑 (りんご病)	↑ 8	2	マイコプラズマ肺炎	↑ 3	0
突発性発しん	↑ 49	37	クラミジア肺炎	↑ 1	0

報告が多い
感染症

- ☀ インフルエンザ
- ☀ 感染性胃腸炎
- ☀ 水痘

- インフルエンザは、報告数 767件(前週報告数 946件)と減少。
地区別では、人吉、山鹿、菊池に多く報告がみられる。
年齢別では、10～14歳の 156件を最多に幅広い年齢層から報告されている。
- 感染性胃腸炎は、報告数 442件(前週報告数 478件)と減少。
地区別では、山鹿、有明、菊池に多く報告がみられる。
年齢別では、1歳の 81件を最多に幅広い年齢層から報告されている。
- 水痘は、報告数 74件(前週報告数 106件)と減少。
地区別では、水俣、菊池、熊本に多く報告がみられる。
年齢別では、1歳の 24件を最多に、主に6歳以下からの報告である。

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血 性レンサ球 菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパ ンギーナ	流行性 耳下腺炎	急性出 血性結 膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズ マ肺炎	クラミ ジア 肺炎	
熊本市保健所	179	2	4	29	142	37	1	5	16	0	3	13		9				1	1
山鹿保健所	61	0	0	0	40	1	0	0	1	0	0	0							
菊池保健所	132	3	3	7	57	15	0	0	7	0	0	4							
阿蘇保健所	15	0	0	2	4	0	0	0	0	0	0	0							
御船保健所	7	0	0	0	5	0	0	1	0	0	0	0							
八代保健所	45	1	0	3	31	0	0	2	1	0	0	1							
水俣保健所	32	0	0	2	5	10	0	0	4	0	0	17							
人吉保健所	109	3	0	7	22	0	0	0	3	0	0	0						1	
有明保健所	94	0	2	2	75	5	0	0	10	0	0	3		1	1				1
宇城保健所	62	0	0	0	34	3	0	0	2	0	0	6							
天草保健所	31	1	0	5	27	3	0	0	5	0	7	17							
計	767	10	9	57	442	74	1	8	49	0	10	61	0	10	1	0		3	1

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0~5ヶ月	6~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳以上
インフルエンザ	767	4	7	39	33	40	50	63	67	58	54	42	156	21	31	40	27	13	14	6	2
小児科定点年齢	合計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以上						
RSウイルス感染症	10	3	2	5																	
咽頭結膜熱	9		1		2	2			2												
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	57			1	4	4	8	4	9	4	8	5	5	2	3						
感染性胃腸炎	442	7	31	81	50	35	37	38	31	20	29	18	30	3	32						
水痘	74		3	24	22	9	7	6	2				1								
手足口病	1			1																	
伝染性紅斑	8			1			2	3	1			1									
突発性発しん	49	3	18	25	1	1				1											
百日咳	0																				
ヘルパンギーナ	10			4	2	1			1			1									
流行性耳下腺炎	61			4	10	11	10	6	12	2	1	1	3	1							
眼科定点年齢区分	合計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上	
急性出血性結膜炎	0																				
流行性角結膜炎	10													1	3	2		1	3		
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上				
細菌性髄膜炎	1					1															
無菌性髄膜炎	0																				
マイコプラズマ肺炎	3			2	1																
クラミジア肺炎	1				1																

大きな流行が発生 又は継続しつつある地域

インフルエンザ：山鹿・菊池・人吉・有明

感染性胃腸炎：山鹿

流行性耳下腺炎：水俣

麻疹(はしか)



平成19年に10代及び20代を中心とした年齢層で麻疹(はしか)が大流行し、高等学校や大学において休業等の措置がとられるなどの大きな混乱が生じました。県内では、平成22年5月以来発生報告はありませんが、全国では年間400件以上報告されています。麻疹は、麻疹ウイルスによって引き起こされ、極めて感染力の強い病気です。自分が感染しないためだけでなく、周りの人に感染を広げないためにも予防接種は有効です。麻疹の発症を確実に防ぐためには、2回の予防接種を受けることが必要です。平成20年4月1日から、5年間の期限付きで、麻疹と風疹の定期予防接種対象が、第1期(1歳児)、第2期(小学校入学前年度の1年間にあたる児)に加え、第3期(中学1年生相当年齢)、第4期(高校3年生相当年齢)に拡大されています。対象にあたる方は、忘れずに接種を受けましょう。時期を逃すと接種費用がかかることがあります。接種の詳細については、お住まいの市町村にお問い合わせください。



KKT 医療ナビ! Dr. テレビたん

<http://www.dr-tvtan.jp/>

情報提供：熊本県健康福祉部 健康危機管理課